

世界にくわえ、日本各地の公演でも賞賛の声

深い想いを込めて舞台に向かう姿はピアノの詩人と喩えようか。

イーティンは卓越した技法を活かし、繊細さと劇的な表現を織り交ぜて演奏を印象づけた。

2013. 02. 03秋篠音楽堂 中原昭哉

変幻自在のタッチを通して自由に音を生み出し、作品の骨格を一筆で描くような強い推進力。重圧感だけでなく、ロマンティックな要素を大きく引き出したピアノは見事であった。

2013. 01. 19王子ホール 道下京子

ILYA ITIN

イリヤ・イーティン

突出した才能と卓越した技法を持つピアニスト イリヤ・イーティン。

ロシアのエカテリンブルグ生まれ。モスクワ音楽院を最優秀で卒業。

L.ナウモフ氏に師事。

「彼の音楽は、誠実で温かく、詩的で、ロマンティズムに溢れている。」

と名教授レフ・ナウモフ教授のエピソードにある。

リーズ国際ピアノコンクール審査員全員一致の第1位受賞、

並びに近現代音楽部門 第1位、BBC放送聴衆賞受賞。

ラフマニノフ国際コンクール第2位。

ウィリアム・カペル国際ピアノコンクール第2位、

クリーブランド国際コンクール第1位、並びにショパン賞受賞。

アールトゥール・ルービンシュタイン国際コンクール第3位。

ジーナ・バッカウアーコンクール第3位、並びにモーツァルト賞、並びにプロコフィエフ賞受賞。

クリーブランド管弦楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、

ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、他多数共演。S.ラトル、N.ヤルヴィ、V.シナイスキー、C.ドホナニー、

Y.クライツヴェルク、M.プレトニョフ、井上道義 他著名な指揮者とも共演。

2012年～2013年、ピューリッツァー賞作曲部門受賞者 Y.ワイナー氏が、彼のために書いたピアノソロ曲が

世界初演をすることになった。

リンカーンセンターにてモーツァルトフェスティバル(ニューヨーク)、アルデベルグ

フェスティバル(イギリス)、バス フェスティバル(イギリス)、トゥルースにてジャコビズピアノフェスティバル(フランス)、

サンクトペテル・ブルグにて、ゲルギエフ監修 マリンスキー劇場フェスティバル(ロシア)、

ウルムにて、ヨーロッパ音楽プロジェクトフェスティバル(ドイツ)、ヘルシンキ・ピアノフェスティバル(スウェーデン)、

ラビにて、ミケランジェリフェスティバル(イタリア)他多数のフェスティバルに招聘され演奏会を行う。

ヴァイオリニスト イダ・ヘンデルとの共演のDVDをはじめ、室内楽 ベートーベン/ヴァイオリンソナタ第5番、

ピアノソラ/春・秋、ブラームス/ヴァイオリンソナタ第1番他、

ソロでは、ムソルグスキー/展覧会の絵、プロコフィエフ/ソナタ第6番、ラフマニノフ/プレリュード全曲演奏 他。

また、CDにおいては、ムソルグスキー/展覧会の絵、プロコフィエフ/ソナタ第6番、ベートーベン/協奏曲第2番

他多数リリースされている。

年間数多く世界で、演奏会をこなす。銀座王子ホール、紀尾井ホール、東京文化会館などでリサイタル開催。

フィリアホール、王子ホールなどで、N響コンサートマスター篠崎“マロ”史紀とのデュオリサイタルを開催し話題を呼ぶ。

篠崎氏を第一回目のゲストとして、イリヤ・イーティンと仲間達(室内楽)を開催中。

プリンストン大学・ゴランスキー・インスティテュートクラスに毎年招かれ、マスタークラスを、またジュリアード音楽院、

UCLAでマスタークラスに招かれている。2017年からウラル大学に招聘され、2018年ウラル国際音楽コンクールピアノ部門の

審査委員長を務める。日本音楽コンクール、及び仙台国際コンクールの審査員を務める。

現在、武蔵野音楽大学客員教授。<http://www.ilyaitn.net/>